

第9回 副首長懇談会（令和7年7月30日）

令和7年度 第1回 副首長懇談会

（一社）近畿建設協会では毎年、防災、まちづくりといった自治体の課題に対応し識者の方々から講演をいただくセミナーを開催しております。今回のセミナーは副首長を対象に「ウォーカブル都市とみどり」をテーマに行いました。

- 日時：令和7年7月30日（水）午後1時30分～5時00分
- 場所：シティプラザ大阪 2階 燦（さん）会場
- 主催：一般社団法人近畿建設協会
- 挨拶：一般社団法人 近畿建設協会理事長 谷本 光司
- 来賓挨拶：近畿地方整備局建政部長 山川 修 氏

- 基調講演：
「まちの価値を高めるみどりを創造する都市施策の潮流」
京都大学大学院工学研究科社会工学専攻景観設計学分野 准教授 山口 敬太 氏

- 特別講演：
「ウォーカブル政策の展開について」
国土交通省都市局街路交通施設課 課長 筒井 祐治 氏

- 事例紹介1：
「下北線路街（シモキタ園藝部）」
株式会社フォルク代表取締役・一般社団法人シモキタ園藝部共同代表理事・一般社団法人ソーシャルグリーンデザイン協会理事 三島 由樹 氏

- 事例紹介2：
「ガーデンシティ 新横浜PJ」
新横浜町内会美化環境部ガーデンシティ新横浜プロジェクトチーム 事務局支援 東邦レオ株式会社 サステナブル事業部 尾畑 洋一郎 氏

- 事例紹介3：
「タルキプロジェクト 奈良山園+IN STUDIO」
IN STUDIO 代表 小笹 泉 氏

- パネルディスカッション
コーディネーター 京都大学大学院 准教授 山口敬太 氏
パネリスト 上記講演者
- 交流会

－会場風景－

参加自治体数 36自治体
自治体出席者数 55名
・副首長 16名
・その他 39名
総参加者数（事務局除く）
69名

開催挨拶・来賓挨拶



谷本理事長

今回の副首長懇談会は、副首長としてトップを支えながら、都市政策、都市行政の最前線に立っておられる皆さんに、できるだけホットな役立つ情報、最新の国の考え等をお届けするというのが目的です。それぞれの自治体でどう使えるのか、御検討いただければ幸いです。



近畿地方整備局 山川建政部長

国土交通省では、皆様のまちづくりの取り組みを支援できるよう様々なツールを用意しています。本日の懇談会を通じて、近畿地方が抱える様々な課題を共有させていただき、東京での予算要求や制度改正につなげて、支援ツールの一層の充実を図っていきたいというふうに考えております。

基調講演・特別講演・事例紹介①②③



京都大学 山口准教授

これまでの都市施設を作りながら、余ったところを緑化する発想から転換し、ランドスケープの中心に緑を持ってくることでより都市の価値を高めていくことが必要。ヨーロッパでは道路空間を再編し、緑地を生み出す流れになっている。道路空間を活用し、緑の価値を都市再生にどう活かし、民間がどう参画するのか、これからの都市政策の重要な論点になる。



国土交通省

筒井街路交通施設課長

人口の縮小均衡が危惧される中、都市機能を集積する場所を中心として、居住者だけでなく関係人口、交流人口などより多くの人がより長く滞在できる環境整備が重要。今後は空間整備だけでなく、都市の個性・魅力を掘り起こし、官民で支えて活動につなげていくのが重要となる。



株式会社フォルク 三島代表取締役

シモキタ園藝部は、下北線路街で、まちの植物の手入れを地域の人たちを中心に仕事として担い、ただ地域住民でなくても関わることができるオープンなコミュニティ。組織の形態はワーカーズコープを参考にし、個々の居場所を見つけやすくした。事業は、個人がやってみたい事業をそれぞれの責任において立ち上げることによって無理なく続けられるようにした。中心の植栽管理事業は大人数ですることにより、楽しく無理なく続けていくことができる。



東邦レオ株式会社 尾畑氏

新横浜は、文化施設が集積するまち。「僕らのまちは、通路ではない。みどりを使って川のせせらぎやたまりのような居心地のいいまちにしたい」をテーマに取り組んでいる。まち全体で緑地に雨水を誘導したり、多肉植物を街中に飾ったり、全国規模のハンギングコンテストを実施し、新横浜をブランディングしている。また活動の継続性を担保するため、自治体からの補助金だけでなく、協賛看板やポール広告の収益で自由な遊びのある活動をしている。



IN STUDIO 小笹氏

都心から一番近い田舎で、農・本・人を地域経済で紡ぐDIYによる拠点群というプロジェクト。これらの事業の特徴は手間に対して利益が小さく地主として地域を良くしていくという責任感のもとやっている。ほぼ民間の取組みだが、その志は公共事業と同じ。ただし、民間の取り組みなので意思決定等は早く、しかも進展に応じて、臨機応変に軌道修正するという特徴がある。一方で、地主は入れ替わることがなく、超長期的な視点で取り組んでいる。

パネルディスカッション

■コーディネーター 山口准教授

■パネリスト 上記講演者

それぞれの取組みの背景や立上げ時の仕掛け方、緑の維持管理の課題など講演では語られなかったことについて意見交換を行った。

